

昭和29年7月1日	前標市廣報 (第1年日十五日發行) 第70號 (2)
 ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※	
りテれい農品	
夏秋靄に備えて 夏秋雲 「夏秋靄に備えて 夏秋雲 の作柄に柔のよしるしによつてき まります。積在用の美を美を全弄 し して下さい。 して下さい。 なっしかられらをふちに して下さい。 なったかられらをなった人に立道し来 して下さい。 なったかられらるかられる。 して下さい。 なったかられらるかられる。 して下さい。 して下さい。 なったかられらるかられる。 ででととができます。 長立前に素全く にしたのできます。 したのでをした。 なったのたんに立道し来 たんでする。 なったのたんにででしたのです。 して下ざい。 して下ざい。 して、 たい。 したのできます。 長立前に素で、 なったのため。 して、 たい。 したのできます。 したのです。 たのででしたのです。 したのです。 たんにする。 でで、 したのできます。 して、 たるで、 なかられたの。 でで、 したのです。 たんにでで、 なかられたの。 でで、 たいので、 たんにする。 たんにする。 たんにで、 たんで、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんに、 なので、 たんで、 なので、 たんで、 なので、 たんで、 なので、 たんで、 なので、 たんで、 なので、 たんで、 たんで、 たんで、 なので、 たんで、 たいで、 たんで たんで たんで たんで、 たんで、 たんで たんで たんで たんで たんで たんで たんで たんで	
下に連結して下さい。	
おかぼつくりで、ひてもの害さっ おかぼつくりで、ひてもの害さっ しのた数で、百桂位(多くても11 百禄まで)にして、ひてもの害です。「採当 りのた数で、百桂位(多くても11 百禄まで)にして、ひてもの害です。「採当 ちのた数で、百桂位(多くても11 百禄まで)にして、ひてもの害さ あさいで下さい。 田の草取り 田の草とりは 田うえ後十日目ぐらいに「香草を おらに十日日でとい」「香草を おらに十日日でとい」「香草を	
水陸看の追肥 とやしのや りすぎにおかねのむたづかいにな るばかりか、雪気室出したり倒し たりして、かえつて収穫をへらし たりして、かえつて収穫をへらし ます。水陸和ご追肥するときは、 着友真に相談しましよう。 大豆の害虫 大豆に大きな 響を与えるとメコガネムシが差生 します。ビーエッチシー水和剤の こ言信からご言信液、あるいはと サン知加用違石灰ホルドー液を、 しますのたちにまいて下さい (農政課)	
は早るに長感へ申し出で下さい 取らに決定しました。 取らに決定しました。 かのようなのよいなか、一部に行って、 かのたいやな思いをして、 まとあて言めをするよの自ら心 掛けて、一日も早く完納するよ うつとめましよう。	
下さい。 軍の脱線のもと 軍の脱線のもと 軍の脱線のもと 軍の脱線のもと 事の脱線のもと 事の脱線のもと 雪組合をつくつ 定しましよう。	
	大学す。 素語して したって などの通りる美麗の の まるのの学見 したった したって などの通りる美麗の したった した した したった した したった した した したった した した したった した した したった した した した したった した した したった した したった した した した したった した した した した した した した した した し

